

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツコーチング学特講		授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ総合科学)
担当教員名	金高 宏文			補助担当者名		
単位数	2 単位	履修年次	1		受け入れ人数	10
授業の概要 及び達成目標	日本におけるスポーツ等のコーチの現状と課題について理解し、プレーヤーズセンタードコーチングが行える資質・能力を高める。さらに、将来にわたってコーチの資質・能力を高めることや、コーチのコーチ（コーチ・デベロッパ）としての資質・能力を高めるために、コーチング・ケーススタディの行い方を指導者へのインタビュー、そして発表・討論等を通して身につける。					
成績評価の方法	□学期末試験の成績（％） ■授業への取り組み状況（60%） ■レポート等の提出状況（40%）を総合的に評価する。					
成績評価の基準	毎回の課題の実施と討論への参画・貢献の充実度や積極性（3×15点+加点15点）、プレゼンテーション（20点）及び総括レポート（20点）の充実度が評価尺度となる。					
テキスト、教材 参考書	その都度、教員または受講者が準備する、必要とする参考資料は適時紹介、配付する。詳しい資料は「Web-Class」より授業後にダウンロードすること。 参考図書として、「コーチング学への招待（大修館書店、@2,700円）」「指導者のためのスポーツ運動学（大修館書店、@2,100円）」「Reference Book（JSPQ、@4,000円）」「球技のコーチング学（大修館書店、@2,700円）」を推薦する。					
履修条件・ 関連科目	現在または将来、スポーツ等の指導を行うことを前提としていること。	備考(教員メッセージ含む)	コーチング・ケーススタディでは、経験豊かな指導者の「私のコーチング」について受講生達がインタビューし、まとめ、スポーツパフォーマンス研究に投稿できればと考えています。			
オフィス・アワー	金高：月曜日 15:00～16:00(大学院棟3階 教員室4)					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	金高 宏文	オリエンテーション、日本におけるスポーツ等のコーチ養成の現状と課題（1）			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備（60分）	
2	〃	日本におけるスポーツ等のコーチ養成の現状と課題（2）			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備（60分）	
3	〃	スポーツ等のコーチに求められる資質・能力（1）			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備（60分）	
4	〃	スポーツ等のコーチに求められる資質・能力（2）			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備（60分）	
5	〃	スポーツ等のコーチを取り巻く環境における現状と課題（1）			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備（60分）	
6	〃	スポーツ等のコーチを取り巻く環境における現状と課題（2）			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備（60分）	
7	〃	コーチング・ケーススタディの行い方（1）			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備（60分）	
8	〃	コーチング・ケーススタディの行い方（2）			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備（60分）	
9	〃	コーチング・ケーススタディ（1）インタビュー			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備（60分）	
10	〃	コーチング・ケーススタディ（1）発表・討議			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備（60分）	
11	〃	コーチング・ケーススタディ（2）インタビュー			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備（60分）	
12	〃	コーチング・ケーススタディ（2）発表・討議			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備（60分）	
13	〃	コーチング・ケーススタディ（3）インタビュー			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備（60分）	
14	〃	コーチング・ケーススタディ（3）発表・討議			復習と予習：当該時間の授業内容に関連する資料収集と次週でのプレゼンの準備（60分）	
15	〃	授業の振り返りとまとめ			総括レポートの作成（120分）	